

## 第二種電気工事士(実技)試験講座

「第二種電気工事士」の資格取得を目指しておられる方に、電気協会発行の書籍等を使用して2日間にわたり、経験豊富な講師が、ポイントをわかりやすく、かつ丁寧に解説します。  
 ※「第二種電気工事士(筆記)試験講座」も開催いたしますので、合わせてご活用下さい。



「第二種電気工事士」試験は、「筆記」「技能」の2段階で実施されます。


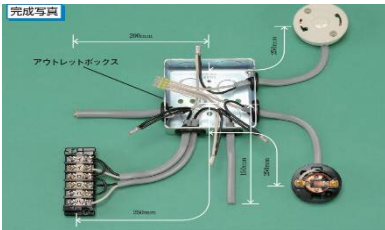
- 年2回(上期・下期)
- 筆記試験：四肢択方式(マークシート)  
 ※合格の場合、次の試験免除可能
- 技能試験：実技による。  
 ※事前に公表されている候補問題から出題





「第二種電気工事士」を取得すると一般住宅や店舗等の600V以下で受電する設備の電気工事に従事出来ます。また、免状取得後に3年以上の実務を経験または認定講習を受講し、監督部へ申請して「認定電気工事従事者認定証」の交付を受ければ、更に従事出来る範囲が広がります。



### 【実施例】 【1日目】

内 容	備 考
○複線図 複線図の書き方 出題された「配線図」「施工条件」から「複線図」を作成	
○実技 基本作業実技演習 • 電線・ケーブルのはぎ取り • 終端接続 • 結線 • 器具の取り付け	
○実技 候補問題実技演習① 候補問題を使って、材料配置、施工ポイント、欠陥事例等を演習	

### 【2日目】

内 容	備 考
○実技 候補問題実技演習② 候補問題を使って、材料配置、施工ポイント、欠陥事例等を演習	
○実技 候補問題実技演習③ 候補問題を使って、材料配置、施工ポイント、欠陥事例等を演習	

(注)内容の一部が変更となる可能性があります。

※詳細は約3ヶ月前を目途にホームページ等でご案内いたします。

受付中の講習会はこちら⇒ <https://www.jea-chugoku.jp/kosyu/ichiran.php>